

# しなの鉄道115系

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

### 組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

（お買い上げのお客様へ）不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター  
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**

●受付時間 10時～17時（祝日、夏季・冬季休業日を除く）  
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

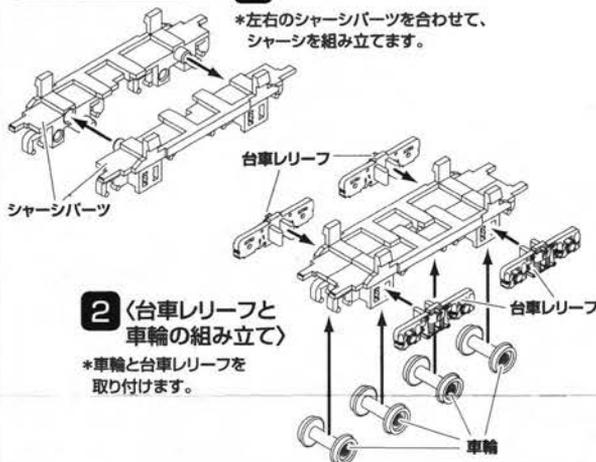
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター  
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち5-4-67

●営業時間 10時～17時（土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く） 電話番号はお客様相談センター共通

### シャーシの組立て

### 1 〈シャーシの組立〉

\*左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



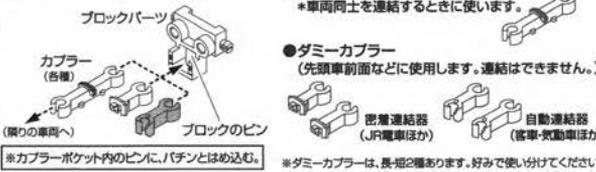
### 2 〈台車リリーフと車輪の組み立て〉

\*車輪と台車リリーフを取り付けます。

### 台車リリーフの向きに注意。



### カプラーの取付け方



●ドローバー  
\*車両同士を接続するときに使います。

●ダミーカプラー  
（先頭車前面などに使用します。連結はできません。）

●密着連結器 (J形電車ほか)

●自動連結器 (客車・気動車ほか)

\*カプラーポケット内のピンに、パチンとはめ込む。

\*ダミーカプラーは、長径2種あります。好みで使い分けてください。

## Nゲージ化用パーツの取り付け方法

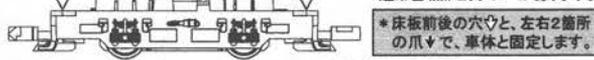
\*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

\*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

### ①機関車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用動力ユニット①」機関車用」を使用します。

通常色(黒)と、グレーがあります。



\*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

\*スノーブローは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

\*EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、短小カブ、Sカブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

### ②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用動力ユニット②」電車・気動車用」もしくは「同動力ユニット③」路面電車用」を使用します。



\*イラストは「動力ユニット②」電車・気動車用」です。「動力ユニット③」路面電車用」には前後のカプラーはありません。

\*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。

\*台車側面に、台車リリーフを取り付けてください。

(追加ウエイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

### ③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「BTレインジョーティ専用走行台車①」を使用します。

\*付属の床板パーツを使用して、走行台車をセンターピン穴に装着してください。

取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。

\*台車側面に、台車リリーフを取り付けてください。

\*旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

\*台車に取り付けた「台車リリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。

\*スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。

\*新幹線など車体幅2カバーのある車両では、台車リリーフを取り付けできません。

\*SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー

取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)

\*先頭車にスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

ピンあり ピンなし

●Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

\*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。

\*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。

●走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。

\*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。

(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

### ■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) \*EF64c、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

\*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車リリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車① コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 165系など

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車① 空気バネ台車タイプ DT32タイプ 485系など

品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車② ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

\*「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車リリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

### ■パンタグラフの交換

\*お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401 PS14:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-2:PS13:直流パンタグラフ

KATO:11-403 PS22:直流・下付交差形パンタグラフ グリーンマックス:80-3:PT42:直流パンタグラフ

KATO:11-404、11-420 PS16:直流パンタグラフ グリーンマックス:80-5:PT43:直流パンタグラフ

\*11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。 クロスポイント:PT71C:シングルアームパンタグラフ

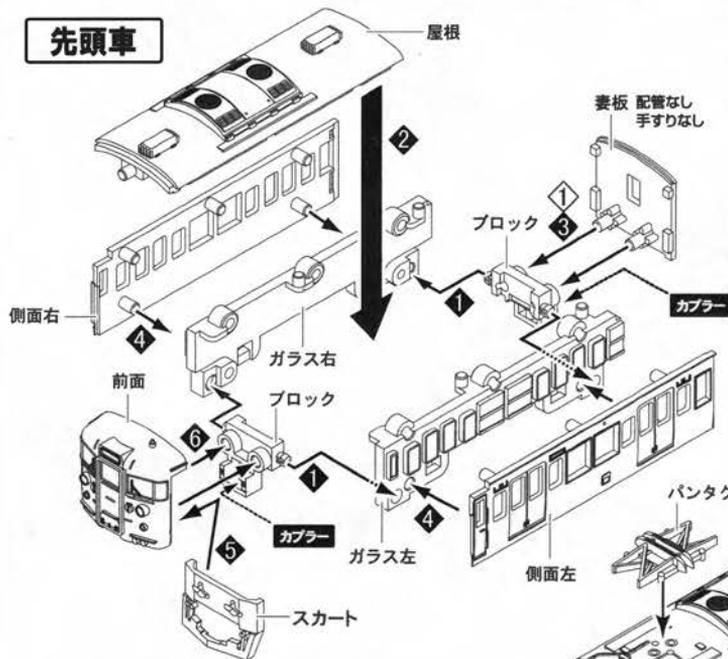
このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

\*各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それ

ぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

\*動力ユニットの装着には、車体によっては車体骨の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

## 先頭車



\*クモハ115形を組み立てる場合は、妻板を中間車用「配管なし・手すりなし」に、台車レリーフを「DT-21」にして組み立てるとより実車の形態に近づきます。

\*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

\*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

\*また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

## ステッカーの貼付け位置

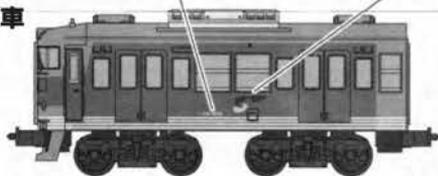
貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)

種別・方向幕



車体番号 クハ115-1018

先頭車

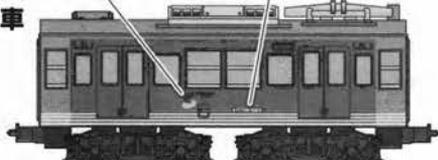


コーポレートマーク

車体番号 ●●-114-1023

\*車体番号、コーポレートマークは、反対側も同じ位置(線対称)に貼ります。

中間車



\*「あの夏で待ってる」ラッピング車は、車体番号を貼るスペースがありません。

## 車体の組立て

①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。

\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。



②屋根を取り付けます。(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)

③妻板を取り付けます。(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)

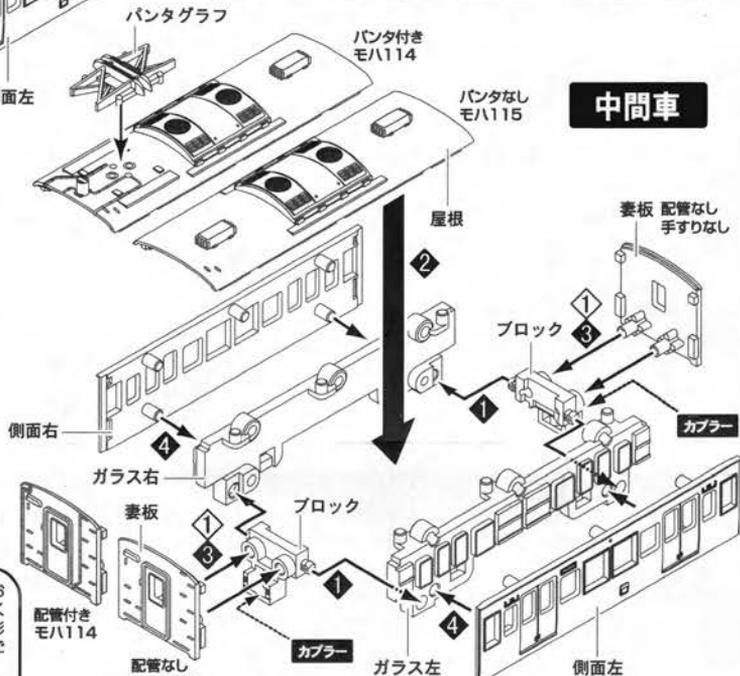
④左右の側面を取り付けます。

⑤シャーシのつめに合わせせて車体をかぶせます。(中間車は完成です。)

⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。(スカート付きの車両は、先にスカート在前面に取り付けます。)

⑦カプラーを最後にブロックのピンに取り付けます。

ラッピング車の場合、側面とガラスはあらかじめ組み立てた状態となっています。この場合、妻板の取り付け順は③でなく、①のときに先にブロックパーツに取り付けた状態で組み立ててください。



## 中間車

\*「あの夏で待ってる」ラッピング車は、絵柄の都合で左右の側面が組立図とは入れ替わります(そのまま組み立ててください。)

## 妻板について

先頭車用



配管なし・手すりなし (クハ115形)

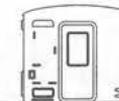
中間車用



配管付き (モハ114形)



配管なし・手すり付き (モハ115形)



配管なし・手すりなし (モハ114・115形) (クモハ115形)

## 実車の編成例

← 長野・篠ノ井  
しなの鉄道115系

\*S2編成:「あの夏で待ってる」ラッピング編成

\*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。  
\*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

軽井沢 →

3両編成	クハ115	モハ114	クモハ115	2両編成	
	クハ115	クモハ115	クモハ114	クモハ115	クモハ115
S1	1004	1007	1004	S21 (N56)	1011 1507
S2	1012	1017	1011	S22 (N51)	1528 1508
S3	1013	1018	1012	S23 (N52)	1037 1509
S4	1066	1160	1209	S24 (N57)	1005 1510
S5	1002	1003	1002	S25 (N58)	1075 1511
S6	1018	1023	1017	S26 (N53)	1076 1512
S7	1529	1052	1021	S27 (N54)	1040 1514
S8	1527	1048	1223		
S9	1067	1162	1210		
S10	1020	1027	1019		
S11					

\*2両編成は新長野色のままで運用中

# しなの鉄道 方向幕



## 車体番号

1000番台

2000番台

3000番台

4000番台

5000番台

6000番台

7000番台

8000番台

9000番台

0番台

1000番台

2000番台

3000番台

4000番台

5000番台

6000番台

7000番台

8000番台

9000番台

0番台

1000番台

2000番台

3000番台

4000番台

5000番台

6000番台

7000番台

8000番台

9000番台

0番台

1000番台

2000番台

3000番台

4000番台

5000番台

6000番台

7000番台

8000番台

9000番台

0番台

1000番台

2000番台

3000番台

4000番台

5000番台

6000番台

7000番台

8000番台

9000番台

0番台

1000番台

2000番台

# ロゴマーク

(先頭車正面)



Shinano



Shinano

(先頭車・中間車側面)

